

		農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵		
年	月	日	議会	市当局	流通業務委託		議会	当局
2012								<p>与布土地域まちづくり計画</p> <p>基本目標3 美しい農業集落と豊かな食文化をあわせもつ郷づくり</p> <p>計画目標1 農地を維持管理するための体制づくり</p> <p>計画目標2 元気の農業の復活</p> <p> 施策目標1 販売方法の確率</p> <p> 施策目標2 魅力ある加工品づくり</p> <p>計画目標3 農業後継者の育成</p>
2012	3	8				<p>例えば、和田山給食センターにおきましては、調整会議というものを、生産者の調整会議というようなものが1つになると、そういった状況の中で、やっぱりこういう事業、市を挙げて取り組む、農業も含め、学校給食の地産地消のそういう精神も含めて、全体的に取り組む必要があるのではないかと考えますが、その点、教育長、教育委員会はどのようにお考えか。（吉田富郎議員）</p>	<p>例えば、和田山給食センターにおきましては、調整会議というものを、生産者の調整会議というようなものを持っておりまして、その中で旬のもの、あるいは先ほどありましたように量をそろえとか、そういうものも課題として議論をさせていただいております。[...]朝来市全体の給食のあり方について十分今後も協議をしながら、地産地消、安全・安心な食材の提供を子供たちにしていこうと、このように考えております。</p>	
2015	3	16				<p>梁瀬小学校の調理場につきましては、以前は、先ほど言いましたように、地産地消ということで、農家の方からいただいていた経緯がございます。しかし、近年は、与布土自治協議会からということで、そういった地産地消の、そこを窓口は今、購入をしているという、私は認識をしております。</p> <p>(文教民生委員会予算審議答弁)</p>		
	3	30				<p>それから、言われましたとおりに委員会としても、これまで食育という取り組みを山東地域は非常に大切にされてきたということは十分理解しておりますので、そこを安全性という問題を持ち出してきて統合されるならば、これまで地産地消、そして農家の皆さんに真心込めた農産物を提供していただいて、食育という取り組みをしていたことをどう総括するのですかというお尋ねをしましたが、現時点では総括はされていないということなので、これにも長年の山東地域で取り組まれてきたものを一挙になくしてしまうのはいかがなものかということから、今回の附帯決議を発議させていただいて、当分の間、予算の執行は留保していただき、その間に関係者への十分な説明と丁寧な対応をしていただきたいという考え方でございます。</p> <p>(給食センター設置に対する予算執行留保に関して)</p>		

			農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵	
年	月	日	議会	市当局	流通業務委託	議会		当局
2017	3	6						消費者が生産者と顔が見え、話ができる関係、これをイメージしますと、朝来市におけるこれにつきましては、統合前の学校給食がまさしくこれであったかなど。地元の生産者の方、おじいちゃん、おばあちゃんがつくったものを小学生に食べてほしいと、よく学校のほうに持って来られてた、そういった記憶が私はございます。 (西本議員一般質問)
2018	9	11		担い手への対策や、耕作放棄地の対策などのたくさんの課題はありますが、まずは、戦略を立てるには、どこに選択と集中をするのか、いわゆる販売網をどのように構築していくのかという出口戦略、または特産農産物のブランド化をどのように構築していくのかというブランディング戦略が、今後の生産と販売拡大の方向性だと思っています。 (森田議員一般質問)	先ほどもありましたように、[農業戦略]プランでも重視しておりますのは出口戦略でありまして、出口戦略を考える上で一番やはり重要なのは、マーケティングでございます。 (森田議員一般質問に対する答弁)			
2019	3	11						やはりある程度の販路、出口戦略をもった法人であったり、そういった組織をきちっと立ち上げてくださる方に委ねたりとか、あとこちらでそういった出口戦略について検討会を設けたいというふうを考えております。 (予算決算特別委員会 産業建設分科会)
	3							朝来市農業推進戦略プラン 2019 作る農業から『儲ける農業』へ
	3	25						朝来市農業推進戦略プラン2019では、「作る農業から『儲ける農業』へ」と標榜しており、市特産物である岩津ねぎを初めとした農産物販売等の出口戦略が重要となる。「儲ける農業」の実現に向け、明確な出口戦略で取り組まれない。 (新年度予算に対する審査意見)
2020	4							一般社団法人よふどの恵発足 よふどの恵は、与布土地域の豊かな農村環境を後世に伝えるとともに、持続可能な地域づくりを行っていくために設立されました。 私たちは、与布土地域に住む人たちの明るく豊かな暮らしの実現に向けて活動し、地域のブランド性の向上と、魅力ある地域づくりの実現を目指しています。 (HPより)

			農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵	
年	月	日	議会	市当局	議会	当局		
	8	19		農産物流通拡大業務 プロポーザルにより受託者決定 (株) ファントウ (岡山県) 契約金額 270万円	流通 業務 委託			
	9	2		出口戦略に係る市としての方向性が不明確である。 本来の目指すべき姿である儲ける農業を達成するため明確な方向性を示すべきである。 (所管事務調査報告)				
	9	15					例えば、会計上なんかでも、委託事業でありますとか収益事業の部分と、それから補助金をもらって行う事業というのを、なかなか一緒に会計で処理できないということなんかもあつたりしますので、与布土なんかは一般社団法人を取られたということになってます。 (決算審議 総務委員会 市民協働課答弁)	
						フ ア ン ト ウ		与布土自治協議会の新しくつくられた「よふどの恵」という一般社団法人は、あくまで自治協が主体でされてますので、そこら辺の会計上の分け方でありまして、ちょっと内部の組織的な分け方で別になってるというふうに申し上げただけで、そもそも一緒にされてるというような、そういうような状況でございます。
2021	3	10		[農産物流通拡大業務での]具体的な販売実績につきましては、個人配達の手事業者への小玉スイカ、早生の枝豆を出荷したといった実績がございます。 [...] 関東の大手デパートの生鮮売場のバイヤー、あるいは近畿圏のバイヤーを本市に招聘しまして、生産者向けの講演会の開催でございますとか、圃場での現地視察等を行って、生産者との交流も実施しております。 (足立議員一般質問に対する答弁)				
	3	17		[新年度4月から6月については]支援といいますか職員が携わってございますので、できれば職員がそういった関係者、グループのほうにもお話をさせていただいて、現在も会議などをしてございますけれども、そういった事業に携われるかなというふうに考えてございます。ただ本当にバイヤーとしての動きなどは、なかなかできにくうございます。 (新年度予算 産業建設委員会)				
	3	31		ファントウによる業務委託完了				
	4			21年度前半は委託事業者なし				

		農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵		
年	月	日	議会	市当局	流通業務委託		議会	当局
	5	20		農産物流通拡大業務に係る委託業務内容については、実施する業務は掲げられていたものの、KPI等の設定がなされていなかった。[...]今後については、KPIや目標達成に向けたアクションプラン等の設定を検討されたい。 (所管事務調査報告)				
	6	8		補正予算 280万円+次年度債務負担550万円 出口戦略について流通に精通する事業者と委託契約を締結し、朝来市農産物の流通拡大及び生産体制の強化を図ります。				
	6	24		農産物販売支援について、その手段である朝来市農産物流通拡大業務の成果は全く出ていないようであり、朝来市が直接的な支援をしていない市内産直センターのほうが実績や評価も高く、市内農産物の販路として確立されつつあります。 (吉田議員一般質問)		問題は野菜ですけども[地産地消率]11.7というのは、ちょっとびっくりなんですけども、11.7から18.9まで上げてきたということで、非常に努力されているというふうに思います。ただ、やはりもっと上げていただきたい。やっぱりこのテーマにしております生産者のモチベーションを上げていくという意味でも、もっともっと地元産のものが使えないかなというふうに思いますけども、地元産の利用率をもっと上げていくためにどういうふうに考えておられるかということと、農林振興課との連携、その辺はどのようになっているかをお伺いします (藤本議員一般質問)		一般の青果業者から仕入れる主に市外産の野菜に比べますと市内産の野菜は、例えば虫食いがあったり、あるいは虫がついておったり、それから規格がふぞろいであったりと、そういうことで下処理に時間を要することが多くございます。また、必要なときに必要な量が確保できない、そういう課題も現実にあります。これらの課題を解決していくためには、議員御指摘のとおり農林振興課との連携が必要である。そういうことから学校給食で使います野菜の種類とか量、それから使用時期と市内産野菜の生産状況をマッチングしながら農業と給食をつなげる、いわゆる新たな仕組みの構築に向けまして、農林振興課と連携しながら検討を始めているところでございます。 (教育長 藤本議員一般質問答弁)
							学校給食センターへの地元産野菜の納品に当たりまして、次の3点について十分な検討が必要であるというふうに考えてございます。 まず一つ目につきましては、形状を基準とした規格についてでございます。[...] 二つ目は、安定的に必要な量の食材が提供されることでございます。[...] 三つ目としまして、学校給食センターで地元産野菜を納品される農家の所得の確保と、一方、学校給食費に関わる食材購入価格のバランスをいかに整えていくかということでございます。 (産業振興部長 藤本議員一般質問答弁)	
	7	9		農産物流通拡大業務に係る委託業務については、明確な成果指標を設定されたい。また、特産物の振興に当たっては、ブランド化（米等）に向けた取組を検討されたい。 (補正予算に対する審査報告)				

			農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵
年	月	日	議会	市当局	議会	当局	
	11	15		農産物流通拡大業務 プロポーザルにより受託者決定 (株)パソナ農援隊(東京都) 契約金額 828万円(2か年) 委託内容 (1) 販路の開拓 (2) 販路(市場)との交渉および生産者グループとの生産調整 (3) 生産者グループの育成及び拡大に向けた調整 (4) その他農産物の流通 (業務仕様書より)			
	12	1		受託業者との協議 【専門家派遣】 ・既存の生産者グループ及び研修において意欲が高いと思われる事業者には、2022年度から専門家派遣を実施する。 ・現在市内で活動している「あさご豊作」「よふどの恵」については、専門家を選定するためヒヤリング調査を12月中旬に実施したい。 (会議録より)			
	12	22		よふどの恵・あさご豊作へのヒヤリング よふどの恵 今後の支援について ・移住者を受け入れるために、就農にむけたプラン作り・メッセージを打ち出していく方法を専門家にサポートしてもらう[...] ・野沢菜の価値を高めるために、どんなブランディングが必要か明確にする (会議録より)			
2022	6	16			野菜の場合、地元産野菜は加工に手間がかかるとの説明を今までも受けております。それならば、既に加工済みの地元産野菜を[給食に]供給する仕組みができないか、そのように考えます。これを実現する上での課題についてどのようにお考えか質問します。 (藤本議員一般質問)	これらを実現する上では、加工いたします施設でございますとか、給食センターが必要とする農作物の品目と量の確保に向けた農業者との取りまとめ、あるいはその加工に携わる方の仕組みというようなものがどういふふうな形にしていけるのかというようなことが大きな課題になってこようかというふうに思っております。こういったことにつきましては、今後ともまた生産者の皆様とも共有しながら、検討してまいりたいというふうには考えてございます。 (藤本議員一般質問答弁)	
	8	9	一般会議：朝来市の農業の現状と今後の展望について(市内農家6名)	職員3名出席			

		農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵		
年	月	日	議会	市当局	流通業務委託		議会	当局
	8	17		<p>今後の方向でございますけども、まず、一般社団法人よふどの恵であったり、あさご豊作への専門家による伴走支援ということで、パソナの知り得る人材をこちらに派遣していただいて、[...]グループ化ということを通じて話をしています関係で、そういったものに対する専門家の支援ということを考えてございます。</p> <p>(所管事務調査)</p>				
				<p>あと取組を実際に行われます各地域自治協議会、既に数件は声かけさせていただいてますけども、こちらへ専門家の派遣をお願いして伴走支援をしていただこうと[...]</p>				
			<p>これまで取り組んできた出口戦略と、今取り組んでいるものが、ちょっと内容的に少し大きく変化してるんじゃないか</p> <p>(森田委員)</p>	<p>販路と生産は両輪で動かないと、おそらくうまくいかないというのが現実がありますもので、今回はこういった形で、令和3年度、4年度については、人材育成のほうにも力を入れていこうという考えてございます。</p>				
			<p>実際に今この農産物流通拡大業務で、うちが相手にしとった人はどなたになるんですかね。</p> <p>(吉田委員)</p>	<p>そのお答えは二つあると思っています。まずは新規就農者[...]もう一つは既存農家</p> <p>個々の農家すべて対象にはなかなかできないのが現状でございますので、核となります地域自治協を一つの中核地点として、そちらを中心に農家に集まっていたらどうという思いは、今もございます[...]</p>				
			<p>4年度分の550万円は、今度は何に使うのか</p> <p>(森下委員)</p>	<p>今自治協のほうにも声をかけておりますので、そのグループが意思表示されて、まとまりつつあるようでしたら、すぐに専門家を派遣していただいて、自治協に専門家を貼りつけて伴走支援をするということで、540万円の費用をつかうことになっております。</p>				
	9						<p>「学校給食に地元産野菜等の味わいを」 HP掲載</p>	
	9	15		<p>販路拡大業務はやっぱり3年ということで切ってございますので、できれば人材育成、やはり続けていきたいなという思いは現在してございます。</p> <p>(2021年度決算審議)</p>	パ ソ ナ 農 援			

		農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵
年	月 日	議会	市当局	議会	当局	
	10 20		<p>令和4年度まちづくりフォーラム 時代に合わせた農業の振興</p> <p>朝来市では新たな販売の仕組みとして各自治協に仲介をしてもらう仕組みを考えています。農業者が契約作物を自治協議会に持ち込み自治協議会が契約業者にグループ出荷を行います。契約業者は受け取った作物を小売加工業者に運搬し最終的に消費者に販売するといった仕組みを検討しています。市内ではこの取り組みを与布土地域自治協議会が行っています。</p>		<p>[11/11の竹田自治協でのフォーラムに参加して、]よふどの恵に関する農産物の流通に関することという仕組みを説明を受けまして、とてもいい組織だなと思ひまして[...]</p> <p>(23/8/23政倫審議事録34頁)</p>	
			<p>与布土地域自治協議会では一般社団法人よふどの恵みを設立し農産物の出荷業務を行っており、左の表はよふどの恵みで取り扱っている農産物のリストとなります。今後の方針として企画外品の買い取り、またよふどの恵みのような軒先出荷をできるようになれば小規模農家の収入増加また農地保全にもつながると考えています。</p>			
			<p>今回は自治協議会を例としてあげましたが、仲介業務を行う方がいれば同様のことが可能となると考えており令和5年度に向けて市でこのような仕組みが可能であるかを検討していきます。</p> <p>(まちづくりフォーラムCATV放送の文字起こし)</p>			
	11 14				<p>[給食センター職員から]直接よふどの恵さんにお電話をしました。</p> <p>(23/8/23政倫審議事録34頁)</p> <p>こういった組織であったりとか、どんな野菜を作っておられるかということ、問い合わせした[...]</p> <p>その際には、まだ野菜のほうは、まだたくさん作っていないということでしたので、それで話は終わった</p> <p>(同25頁)</p>	
					<p>その後に、農林振興課のほうから説明会ができるんだったらしてもらえないかというのがありましたので、[...][12/8の]説明のほうを行ったということでございます。</p> <p>(同上)</p>	

流通
業務
委託
隊

		農産物流通関係		地産地消給食関係		与布土地域・よふどの恵
年	月 日	議会	市当局	議会	当局	
	12 8		<p>農林振興課3名出席 質疑応答：時期毎にどの野菜がどのくらいいるのか。（%で提供してほしい） また、●月に▲（野菜）が■kg必要と提示してもらえれば、契約栽培も視野に入れるのだが。 （農林振興課会議録）</p>	流通業務委託	<p>3者会議 給食センター2名出席 市内農家を取りまとめる仲介役がいれば窓口が一つになり規格がそろった品物、必要数が集まりやすい。 （給食センター打ち合わせ資料）</p> <p>藤本議員：会議に同席したが発言はしていない</p> <p>対応方針「作物の年間スケジュールを提示したので作付け計画を提出してもらう。」 （給食センター会議録）</p>	よふどの恵：7名出席 （藤本氏含む）
	12 13			流通業務委託	<p>今後の学校給食におきます地産地消の取組につきましては、まず、現在取組をされております本市の有機栽培でございますコウノトリ米から学校給食に順次取り入れていきたいと、現在検討しているところでございますし、他の野菜につきましても生産者の皆様との協議、調整を踏まえながら、学校給食の地産地消の割合を増やしていきたいというふうを考えております</p> <p>学校給食に地元産有機農産物を提供したい生産農家を募集し、説明会や講習会、情報交換会などを継続して生産農家のレベルアップや契約農家を増やす取組が必要と思いますが、どのようにお考えでしょうか。 （藤本議員一般質問）</p>	
2023	2 10		<p>フロー図の提示 8ページを御覧いただきたいと思っております。 市内の小規模農業者が各自治協に今、農産物を持ち込みまして、各自治協議会から、よふどの恵という法人がございますので、そちらを中心に、よふどの恵から契約業者に出すと、これがいわゆる流れになってございます （所管事務調査）</p>	流通業務委託		
			<p>[よふどの恵に]保冷庫がございますので、そういったところへ保管をしまして、できましたら給食センター、もう既に給食センターともお話をさせていただきまして、[...]そういった流れを作るのと[...:]</p>	流通業務委託		
			<p>跡契約業者については、もう既に契約業者がたくさんございますので、そちらに流していただく形でございます。</p>	流通業務委託		
	3 31		<p>パナ農援隊契約終了</p>	流通業務委託		